

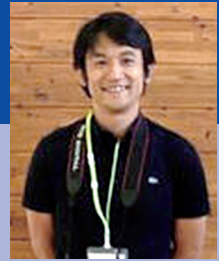


# 福祉コミュニティデザイン

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科／コミュニティデザイン、まちづくり

古山 周太郎 KOYAMA Shutaro

准教授、博士（工学）



## 1. 研究内容

現在、日本の社会は人口減少と高齢化の時代をむかえています。このような状況下で、地域社会の抱える課題や問題を、子供、高齢者、障害者の暮らしから捉え直し、コミュニティをかたちづくりながら解決していく試みが「福祉コミュニティデザイン」です。

地域の現場を体感し、そこで暮らす多様なひとたちの声を聞きくことから、道のりは始まります。実際の地域活動に携わりながら、教育、復興、福祉、計画、支援など様々な角度から調査・研究を進めていきます。



## 2. 地域・産学連携の可能性

福祉コミュニティデザインは地域の住民の方と共に実践していくものです。ゆえに、地域連携がその基盤となるといっても過言ではありません。

これまで研究室では、地域住民の生活ニーズや意識調査（アンケート、ヒアリング）、地図をもとにした空間調査やフィールドワークによる地域環境調査を実施しています。住まいの地域の実態と今後の方向性について、調査から得られたデータは住民のみなさんと将来のまちづくりを話しあう素材にもなります。さらに、住民参加によるまちづくりに関する計画策定などの業務についても、これまでの研究室の経験を活かすことで、さまざまな連携が考えられます。



地域福祉、居住支援、障害者福祉、まちづくり